

平成23年度 馬頭東小学校 学校評価報告書

※ 評価は、A・B・Cの3段階で実施

評価項目 本校での目標（重点は○数字）・具体策	評価	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者評価（外部評価）でいただいた意見等
I 学校教育目標や学校経営の方針の設定状況 1 自ら学びたくましく生きる心豊かな子どもを育成する。 ・教育目標の児童への周知 ・詩の暗唱の奨励 ----- ② 児童にとって居がいのある学校・学級づくりに努める。 ・学校行事や学年行事、学級経営の工夫と充実 ・一人一人の存在感・有用感を高める学級経営の工夫	A ----- A	○教育目標は学校だより等を通じてよく周知されている。 ○暗唱にも意欲的に取り組んでいる。（下学年） ○詩の暗唱への取り組みは個人差が大きかった。（上学年） ○詩の暗唱は月1編の詩の合格を目標に、年間で最低10編の合格を目指して取り組んでいる。（6年） ○楽しい学校づくり、一人一人の存在感・有用感を高めるため、学校行事等で中心的役割を与えるなどの工夫をしている。（高学年） ○自然体験活動の充実という観点からも、5年生の臨海自然教室のためにも、4年生で1泊の宿泊学習を実施しておくといよい。 ○9月の運動会は残暑が厳しく児童の健康が心配。また、音楽祭や陸上大会の練習と重なるので春に実施できないか。	○高学年の詩の暗唱については、計画的に指導する。 ○教育相談を充実させて一人一人の心をケアしていく。 ○次年度から4年生の那須高原自然の家での宿泊学習を実施する。 ○児童の健康面を最優先に考え、平成25年度以降は運動会を春に実施する方向で調整する。	○詩の暗唱は、家の人に聞いてもらい、自分たちも楽しみながら覚えていくように思えたので、これからも続けて欲しい。（2人） ○学校行事や学年行事では一人一人が協力し助け合う仲間作りが必要だと思う。 ○一人一人がもっと発言しやすくなるような指導をしてはどうか。 ○次年度の学校行事については内容としてはいいが、保護者の意見をもっと理解してほしい。 ○地震があり親から離れるのを怖がる子もいるので、もっと慎重になった方がよい。 ○残暑が厳しい中での運動会は子どもたちにとっても負担になるので春の実施がいいと思う。
II 保護者や地域との連携 1 HPや学校だより等をとおして、保護者や地域向けきめ細かに情報提供し、開かれた学校づくりに努める。（那珂川町全体の重点目標：全校共通） ・積極的な情報発信の工夫 ・各種便りによる情報提供 ・保護者や地域の要望の汲み上げと迅速な対応 ----- 2 学校・家庭・地域が連携した交流事業による教育の活性化を図る。 ・高齢者との交流活動 ・農業体験 ・PTA行事 ・読み聞かせボランティアや地域人材の活用	A ----- B	○多忙な中でHPの更新は時間的に厳しいため、ノートタッチの教員もいるが、一部の担任間でも更新されるようになってきた。 ○夏休みのプール開設の時にはホームページを活用したが、アップするのは時間的に厳しい。 ○ボランティアが活用できるようになってきている。事前に連絡をとり活動内容をよく理解してもらうことが大切だと感じた。 ○地域人材を多く活用している。	○教頭・教務主任以外にも担任が学年行事等を積極的にホームページに掲載するよう促す。 ○夏休みの校内研修でホームページ作成研修を実施したが、再度専門の講師を呼んで研修を実施する。 ○収穫感謝祭は保護者の協力は必要だが、学校行事として扱い、料理なども無理のない内容にしてはどうか。 ○もっと地域の人材や教育資源を活用するため、年間を見通した計画を立てる。	○先生方の負担にはなると思うが、ホームページを見る保護者は多いと思うので続けてほしい。○ホームページをもっと活用していけるようアピールし、先生方も積極的に掲載するようになってほしい。○HPは1日1回は更新してほしい。○ホームページに掲載してある写真を拡大して見られるようにしてほしい。動画等も載せてほしい。○夏休みのプールの開設状況を来年もHPで知らせしてほしい。 ○収穫感謝祭は正直親の負担が大きい。○地域との交流などは児童も楽しめるし、地域の活性化にもつながると思うのでとても良いと思う。○地域の行事に子どもたちが参加できるよう、いつでもどんな行事があるのか分かるようにしてほしい。○スポーツをとおして高齢者との交流を持てるようにしていけたら良いと思う。
III 確かな学力の育成 ① 教科指導の充実に努め、基礎学力の向上を図る。 ・児童の側に立った、分かる授業の実施 ・学校課題（国語科における言語活動の充実）を軸にした学習指導の教科と個に応じた指導の充実 ----- 2 家庭学習の習慣化を図る。 ・「家庭学習の手引き」の活用 ・毎日の家庭学習の奨励 ・家庭学習強調週間の実施	B ----- A	○チームティーチング等で分かる授業、基礎基本の定着を目指してきた。 ○学校課題については一人一人は実践してきたが、共通理解を図ることは難しかった。さらに意欲的な取り組みをしていきたい。 ○家庭学習の習慣化を図るために努力をし、習慣化した児童が増えるなど、それなりに成果はあがった。 ○家庭学習への取り組みに個人差がみられるとともに、家庭によって温度差が大きかった。	○分かるまで繰り返し指導をするようにこころがけている。（2人） ○学力が不十分な児童への個別指導を更に進めたい。 ○チームティーチングによる授業を今よりももっと増やす。 ○新学習指導要領に示された言語活動について、更に具体的な実践を積み重ねる必要がある。 ○とちぎの子どもの基礎基本問題事例集を活用する。 ○家庭学習の取り組み方のよい例を学校全体で取り上げて周知してはどうか。 ○温度差のある家庭には、家庭学習の重要性を根気強く訴える。	○家庭学習などは、1日に何時間行うというのではなく、今日は何ページまでとか範囲を決めて取り組んではどうかと思う。時間で区切ると、だらだらやって、あまり身に付いていないように思える。 ○先生たちもなかなか時間をとれないところもあると思うが、一人一人の個別指導に力を入れてほしい。 ○保護者に家庭学習への意識をもってもらうため、ノーテレビ・ノーゲームの日について徹底していけたら良いと思う。
IV 豊かな心の醸成 1 一人一人が認め合える学級経営に努める。 ・道徳の授業の充実 ・児童理解と教育相談の充実 ・存在感と居がいのある学級集団づくり ----- 2 あいさつ運動を推進する。 ・全教職員一丸となったあいさつ指導の徹底 ・言葉遣いに関する基本的な生活習慣の定着	B ----- B	○仲間はずれや嫌がらせ等の問題行動には、担任の立場を越えた全校あげての体制で取り組み、良い方向に直していった。 ○毎週月曜日の児童指導の情報交換や「ハートの日」のアンケート、教育相談の実施で、児童の状況把握に努めた。 ○低学年児童は大変よくあいさつができるようになったが、中・高学年のあいさつはできていなかった。あいさつや言葉遣いに対する指導はしてきたがすぐには改善できない。 ○あいさつカードを全校で使ったが、マンネリ化し効果があがらなかった。（2人）	○道徳的価値観を高めるため、道徳の授業の中で、書く活動や話し合う活動など、自己の心情を表現する活動を充実する。 ○よい方にも悪い方にも子どもは日々変化しているので、常に目を離さない指導を徹底し、教師の目の届かない所での児童の言動の把握に努める。 ○あいさつはよくなりつつあるが、敬語などの言葉遣いについては継続指導が必要。（多数） ○教師の意識を高めるとともに保護者への啓発に力を入れ、根気強く指導するしかないと思う。	○教師も休み時間に子どもたちと一緒に過ごし、児童の様子を確認してはどうか。○大人がいる時といない時では子どもは変わるので、気をつけて見ていく必要がある。いじめは難しい問題なので、学校と家庭が連携し根気よく取り組むことが大切。○児童たちが成長していく上で、人とのコミュニケーションをとることはとても大事なことだと思う。その時必要なのはあいさつだと思うので、今後もあいさつに力を入れていってほしい。 ○言葉遣いは学校の問題だけでなく、私たち保護者自身の注意が必要。 ○言葉遣いについては家庭と学校が協力して指導していけたらいいと思う。
V 健やかな体の育成 ① 登下校の安全確保に努める。 ・街頭指導、スクールバス乗車指導の実施 ・不審者対応の避難訓練の実施 ----- 2 十分な運動量の確保に努める。 ・教科体育の授業の充実 ・業間の全校運動の充実	A ----- B	○バスの乗車指導で全職員が全方面のバスに乗るようにした。 ○安全乗車についてはよく守られている。 ○火災や不審者対応の避難訓練は実施したが、今後巨大地震を想定した親への引き渡しも含めた訓練ができるとよい。 ○不審者対応の避難訓練では真剣に対応を考えた。 ○毎週火曜日の業間の休み時間を「マラソントイム」としたり、毎週水曜日の業間にローテーション体力作りを実施したりして体力向上に努めた。 ○運動好きとそうでない子で個人差がある。	○交通安全運動時のバス乗車指導は、1日おきで一人2回ではどうか。 ○次年度は、全校一斉に親への引き渡しを含めた避難訓練の実施を予定している。 ○楽しくて、知らないうちに運動量が上がるプログラムを導入するなど、もっと運動量を増やし、運動不足の解消に努める。	○家からバス乗車場所までのルールは守られているが、バスの中でシートベルトをしなかったり、マナーが悪かったりする児童がいるらしい。 ○バス乗車指導は交通安全運動の時だけでなく、まめに指導してほしい。 ○巨大地震や台風時に家に保護者がいる時と誰もいない時の連絡の方法を検討してほしい。○スクールバスの運転手の中に運転が荒い人がいる。 ○意識向上のため食育に力を入れてはどうか。 ○マラソントイムは今後も継続してほしい。○体力の向上にむけ、継続的に体力作りをしてほしい。○楽しく体力作りができるようにするためには先生のアイデアが重要。

